

丹波篠山・福の住む里

福住さとねっと

Fukusumi Sato Net



令和5年4月21日

第 160 号

発行：福住地区まちづくり協議会
〒669-2513 丹波篠山市福住 342
TEL&FAX：079-557-0116
メール：fk.machikyo@gmail.com
http://fukusumiweb.tanbasasayama.com/

地域おこし協力隊員 稲田健一さんが福住へ！



4月3日午後、丹波篠山市庁舎において、丹波篠山市地域おこし協力隊員の就任式がありました。

稲田健一さんは、令和5年4月1日から令和7年3月31日まで、起業支援型の協力隊員として、鍼灸師としての仕事を行ないながら、福住地区のための活動を開始します。

その主な活動は、①ITによる福住地区の情報発信、②福の里農業小学校の運営補助、です。間もなく福住に住んで、福住で仕事をしながらの活動となります。

みなさん、よろしくお願いいたします！

NPO 法人 SHUKUBA 「米粉の日」

SHUKUBA 加工所 daidocolab. (だいでこらぼ) では、ご好評いただいております製粉機を使った米粉加工を承っております。(1kg から) 希望者の方には真空パックにてお渡ししております。

- 加工賃：1kgあたり420円
- 真空パック：1kgあたり25円
- 申し込み：ご希望の方は加工所営業時間に電話(080-9534-4275)まで
- 営業時間：月・水・木曜日の9時～17時

「米粉の日」は4月から、**毎月第4木曜日に変更**して、定期開催！

4月は27日(木)、5月は25日(木)開催予定です。

目前に迫った全国大会！

=全国伝建協総会・研修会福住地区実行委員会=



第45回全国伝統的建造物群保存地区協議会総会・研修会丹波篠山市大会まであと30日。間近に迫った大会の準備がラストスパートに入りました。

大会は、5月22日(月)・23日(火)・24日(水)の3日間で開催され、大会の開催方針は、次のとおりです。(※写真は旧福住小学校に設置された横断幕)

【概要】

全国104市町村、126地区の重伝建地区の住民、首長、行政担当者が一堂に集い、研修を行う。また各自治体と住民が情報を交換し、伝統的建造物群保存地区の歴史的風致の維持向上と活用について寄与する大会とする。

【参加者(大会規模)】

全国の重伝建地区住民、首長、行政担当者、文化庁調査官等合わせて350人以内とする。

【日程(プログラム)】

1日目(5/22)午後：総会・講義・特別基調講演・首長サミット・情報交換会

2日目(5/23)午前：伝建地区視察研修(篠山)

午後：講演会・事例発表・パネルディスカッション・篠山城跡見学

3日目(5/24)午前：伝建地区視察研修(福住)午前8時40分～11時10分

午後：オプション視察(陶の郷・丹波焼窯元・陶芸美術館)

現在の開催方針は、以上のとおりです。

大会日程の中で、福住地区住民としての関わりの深いプログラムは、1日目の「情報交換会」、2日目の「事例発表・パネルディスカッション」、そして3日目の「伝建地区視察研修(福住)」です。福住伝建地区への視察には全国伝建協加盟市町村から200人超の研修参加者が来福する予定です。

大会のプログラム1日目(5/22)には、前内閣総理大臣 菅 義偉 氏の特別基調講演が予定されているほか、文化庁長官 都倉俊一 氏の出席もあり、近年では例のない全国大会となっています。また、午後6時からの情報交換会では、郷土芸能鑑賞として、「デカンショ節」と共に「水無月祭打込囃子(出演：福住下亀甲山打込囃子保存会)」を披露し、会場における参加者の交流、情報交換が和やかな雰囲気の中で行われることを願っています。

そして3日目(5/24)には、福住伝建地区視察研修が多数の参加者を迎え、地元住民が主体となって町並みをガイドします。

特に、街並みガイドについては、コースの設定、スタッフの決定、実践練習、リハーサルなど大会に向けて取り組んできましたが、残りの時間はあと1か月に迫りました。また、町並みガイドのほか、休憩所や案内所、駐車場の確保、案内板の設置なども未達成の事項が多く残っていますが、実行委員会の取り組みが最終段階に突入しましたので、達成に向けて鋭意取り組んでいます。

福住地区のみなさんをはじめ、大会を支えていただいている関係機関の皆様、大会の成功を見守っていただいている多くの方々には、さらなるご理解、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

第1回福住地区リビングラボ 開催！

= 福住地区まちづくり協議会 =

3月21日(火・祝)午前10時から、66名のたくさんの参加者を得て、「第1回福住地区リビングラボ」を旧福住小学校体育館において行いました。



リビングラボとは、地域住民が感じている社会課題を、企業や行政と協力しながら解決するという取り組みで、エーザイ株式会社の協力の下、途中コロナ禍はあったものの4年の歳月を経て今回実現できました。

第1部は、お笑い福祉士で落語家の笑福亭学光さんの「病気・笑い・いきいき」と題した落語で、会場は笑い、笑い、笑いの渦でした。途中からは腹話術の人形も交えてのお笑いで、お腹の皮がよじれるぐらいのお笑いで、あっという間の楽しい時間でした。

「いつも笑うこと。」「つくり笑いでも笑うこと。」の教訓を残して降壇されました。

第2部は、電子アンケート集計システムによる約20問におよぶ質問がありました。

15~20秒ほどの間に該当するアンケートの選択肢の番号を選ぶと瞬時にグラフに反映され、参加者の「健康に関する生活の意識や病気に対する思い」などが現れます。参加者は結果を見て考えさせられる事が多々ありました。

最も意外な結果とエーザイの方が驚かれたのが「健康づくりに向けて、特に行っていることはありますか？」で「運動、ウォーキング」よりも「田畑の作業」の回答が最も多い結果でした。福住地区の特徴が現れていました。

Gallery FOTOZUMI の展示ご案内

= SHUKUBA 情報 =

地域の皆様に、写真黎明期にあった手作り写真をご紹介しますギャラリーとして展示をしてきましたが、今回、アメリカから作家をお招きして企画展としてアンナ・ストリックランド氏の展示を4月末まで行っています。

写真家でもあり教育者でもあったアンナさんは、ロードアイランドスクール オブ デザインの写真学科で長年、19世紀に発明された写真術を専門に教鞭をとっていました。展示作品はイギリスで発明されたガムプリント及び、プラチナプリントシリーズです。当時は色々なプリント技法が発明されましたが、今では希少となっています。4月15日(土)には、写真への情熱を共にしてきたご主人のエドワード・アール氏も参加してトークが行われました。エドワードさんはカリフォルニア大学美術館の19世紀写真の膨大なコレクションの研究者から、ニューヨーク国際写真センター(ICP)の名誉学芸員として退職されるまでのキャリアは40年に及びます。

● 展示期間：4月30日(日)まで

● 展示場所：SHUKUBA 2F

歴史ある福住でこのような写真の歴史に関わる企画展示が実現し嬉しく思っております。時代を超えて写真表現の多様性や可能性を探りながら、今後も次世代に繋げていきたいと願っております。



ビオフットパス 野草クッキング参加者募集!

春の野草は冬の間に体に溜まった老廃物を排出してくれます。



あぜ道を歩きながら野草を採って、みんなで調理。野草ご飯、野草サラダ、お吸物、フリッターを作ります。

※ネイチャーガイドの解説付き

● とき：4月29日(土・祝)

● ところ：福住の田畑あぜ道

● 集合：旧福住小学校前

● 定員：10名程度

● 参加費：3,000円

● 主催：ふくすみビオフットパスチーム

● 問い合わせ・申し込みは、メールで代表 原田 優さんまで

メール：masaruharada1956@ezweb.ne.jp

一本杉販売所だより



みなさん、こんにちは!

今日は曇り空で少し寒いです。

昨日からの雨で桜はすっかり散ってしまいました。代わって桃の花が満開を迎えています!

今日の販売所は春野菜も入っていますが、たけのこの入荷が増えてきましたね。

我が家でも昨日、たけのこご飯を炊いてくれました。大変美味しかったです!

そのほか、季節に合った野菜増えてきて春満載です!

高菜・ほうれん草・ラディッシュ(赤大根類)・たけのこ・わらび・黒大豆・小豆・丹波篠山産コシヒカリ米・黒豆納豆などです。

今日はちょっと寒いですが、農家レストラン

福住の手作り弁当を買って、福住の春の探索もいいですよ!



お待ちしております!